

教職5年目研修講座（高等学校）の報告

理科 安野 史弥

1 はじめに

本講座は教職5年目を迎えた教諭を対象に、学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図るものとしてⅠ期、Ⅱ期に分けて実施された。

2 研修報告

【Ⅰ期】

① 教育相談と人間関係づくり

様々な教育相談の事例に対する協議や演習を通し、大切な考え方を学ぶことができた。特に、傾聴する際の「生徒の訴えの明確化」「自己開示の後に真剣に伝える」「非言語を意識して話す・聴く」といったポイントを踏まえ、今後の実践により生徒理解・生徒指導に生かしていきたい。

② 学校組織の一員として —マネジメントの視点—

本校のもつ資源や課題等を踏まえ、学校プレゼンテーション・シートを作成し、取り組みを整理して本校の在り方を考えることができた。教育目標を達成するためにも、生徒がチャレンジ精神をもつことができる取り組みをしていきたい。

③ 生徒の実態を踏まえた授業改善①

事前に作成・提出したレポートをもとに、他教科・他科目の先生方と互いの課題点を明確にすることができた。「生徒の実態を踏まえた授業改善をするには」というテーマでマンダラシートを作成し、探究の過程を意識した授業の実践の必要性を再認識した。

【Ⅱ期】

① 発達障害のある生徒の理解と支援

生徒に対する合理的配慮について詳しく学んだ。生徒が抱える困難さを疑似体験する活動は非常に興味深いもので、普段の授業の聴き取りや板書の書き取りの難しさに加え、プレッシャーのかかる声掛けが生徒を不必要に焦らせることを実感した。また、ユニバーサルデザイン化の方法として様々なものを学び、「一文一動詞」など、生徒へ配慮していく際のポイントを多く学びとることができた。

② 生徒の実態を踏まえた授業改善②

Ⅰ期の内容を踏まえ、実践した授業についてプレゼンテーションをし合い、成果と課題を協議した。他の教員の実践から、内容を整理・精選され見返したくなるプリントを用いることや、ICT教材を利用して観点別評価を効率的に行うことなど、多くの学びが得られた。今後ぜひ実践していきたい内容であった。

3 おわりに

学校目標の達成は、組織的な授業改善が最も重要だと考えている。そのため今回学んだ内容を多くの先生方と共有し、互いに授業の質を向上させていきたい。

教職5年目研修講座（高等学校）の報告

英語 高橋 峻介

1 はじめに

本講座は教職5年目を迎えた教諭を対象に、学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図るものとしてⅠ期、Ⅱ期に分けて実施された。

2 研修報告

【Ⅰ期】

① 教育相談と人間関係づくり

教育相談に関して、陥ってはいけない状況や傾聴する際に留意することを中心に、事例学習や協議を通して学んだ。近年、様々な状況や特性を抱えた生徒が増加しており、対応するためにスキルを身につける必要性を感じた。

② 学校組織の一員として マネジメントの視点

教育目標を達成するためには、教師と生徒が分かりやすいスローガンを提示・共有することが大切である。本校は探求活動に力を入れており、より地域に貢献できるような学校を目指していく必要があると感じた。

③ 生徒の実態を踏まえた授業改善①

事前に作成・提出したレポートをもとに、他教科・他科目の先生方と互いの課題点を明確にすることができた。「生徒の実態を踏まえた授業改善をするには」というテーマでマンダラシートを作成し、思考判断表現を意識した授業を展開したいと感じた。

【Ⅱ期】

① 発達障害のある生徒の理解と支援

生徒に対する合理的配慮について、具体的例を交えながら演習を通して学んだ。生徒が抱える困難さには様々な種類があり、授業中の指示や教室環境などの日常的な場面でも障壁を感じている。ユニバーサルデザイン化をはかり、生徒全員が学びやすい環境を目指していきたい。

② 生徒の実態を踏まえた授業改善②

Ⅰ期の内容を踏まえ、実践した授業についてプレゼンテーションをし合い、成果と課題を協議した。学校ごとに課題となる事は違ったが、生徒が分かりやすいように工夫する事に、共通していることが見られた。

3 おわりに

学校の目指す生徒像を実現するためにも、教職員が一丸となって授業改善をし、生徒の学習環境を整えることがとても大切である。そのため今回学んだ内容を多くの先生方と共有し、互いに授業の質を向上させていきたい。